

令和8年度 東根市立神町中学校 学校経営計画

校訓・めざす生徒像

- | | |
|------------------|---------------------------|
| 【自由】(Freedom) | 自主・自律の精神に満ち、自らの責任を果たす生徒 |
| 【英知】(Wisdom) | 自ら求めて学び、深く考え、的確に判断し行動する生徒 |
| 【友愛】(Friendship) | 寛容さと思いやりの心に富み、相互に認め合う生徒 |

学校教育目標

世の中のために主体的に貢献しようとする人材（グローカリアン）の育成

1 めざす学校像

「まずは、やってみよう！」を合言葉に、学び合い支え合う、寛容さと勢いのある学校

学校教育スローガン

「Think global, Act local. Be a glocalian.」

（地球規模で物事をとらえ、自分の住んでいる地域で自分にできることを具体的に行動する人材）

2 めざす教職員像

多様な考えを持つ仲間と協力し、教育効果を最大限に高めようとする教職員

- (1) 「その子なりの自己実現」を最上の喜びとし、誠実に寄り添う教職員
- (2) 生徒の「わかった!」「できた!」の瞬間を支えるため、学び続ける教職員
- (3) 焦らず、怠らず、誠実に日々の教育活動に取り組む教職員

3 学校経営の重点

本校では、すべての教育活動の基盤に「生徒と教職員のウェルビーイング」を据え、自他のいのちや存在を大切にしながら、子ども一人ひとりの学びと成長を支える学校経営を推進します。

- (1) 自他の「いのち・存在」を大切に「いじめ・不適應」を防ぐ学校教育の推進
（すべての学びを支える土台）

- ① 生徒一人ひとりの自尊感情を育み、互いの命や存在を尊重し合う学校づくりを進めます。
- ② 「Q-U アンケート」等の客観的データを活用し、生徒一人ひとりの小さな変化や支援のサインを早期に捉えながら、一人ひとりの課題に応じた支援を行い、「いごちのよい学級」づくりを推進します。

- ③ 特別の教科 道徳の授業を教育活動の「要」と位置付け、「ローテーション道徳」を通して、多様な考えを尊重しながら共に生きる力を育成します。
- ④ 特別の教科 道徳におけるローテーション指導の実践を基盤とし、朝の会・終わりの会、学級活動、給食指導等においても、学年（チーム）によるローテーション的な関わりを段階的に試行します。これにより、生徒理解の深化を図るとともに、若手教員等の OJL につながる担任体制の在り方を研究します。

(2) 豊かな感性と健やかな心身の育成（学ぶたのしさを支える基盤づくり）

- ① 読書活動を推進し、生徒の想像力や感性を豊かに育みます。（年間 40 冊を目標）
- ② 部活動は、生徒の自主的・自発的な参加を前提とし、地域との連携を生かしながら、生徒の健やかな成長を支援します。

(3) これからの世の中を生き抜くための「主体的に学ぶ力」の育成（「そろえる」から「のばす」学びへの転換）

- ① 客観的データに基づく生徒理解を根拠として、すべての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びを保障します。
- ② 「教科グランドデザイン」「単元（題材）デザイン」による指導と評価の実践と検証を推進します。
- ③ 生徒の「不思議のタネ」を出発点に、生徒一人ひとりが主語となる授業づくりを推進します。子どもの言葉から学習課題を生み出し、課題設定から課題解決、振り返りまでを一体とした学びを充実させます。
- ④ 東根市教育委員会「ICT活用推進パイロット校（2 年次）」として、AI 型教材“Qubena”を効果的に活用し、一人ひとりの理解度や学習状況に応じた個別最適な学びと、学習の見える化・振り返りを通した主体的な学びを推進します。

(4) 急速な世の中の変化に対応し、自立できる力の育成（学びを未来へつなぐ）

- ① 生徒会活動やキャリア教育を通じて、主体的に考え行動する力を育みます。
- ② 「キャリア・パスポート」を活用し、将来の目標設定をサポートします。

(5) 健康と生命の安心・安全を最優先とした学校経営（安心して学び、チャレンジできる環境づくり）

- ① 学校・家庭・地域が連携し、危機管理意識を高めるとともに、安全・安心な教育環境の維持に努めます。
- ② 環境教育を推進し、整った学習環境づくりを通して、持続可能な学校運営を目指します。

(6) 一人ひとりの実態（教育的ニーズ）に即した特別支援教育の推進と共生社会の実現（「誰一人取り残さない学校づくり」）

- ① 一人ひとりのニーズに応じた支援を行い、自己実現を支えます。
- ② 外部機関等との連携・協力を進め、切れ目のない支援体制を構築します。

(7) 学校と家庭・地域が協働し、支え合う仕組みの構築

- ① コミュニティ・スクールの推進・充実を図り、「地域とともにある学校づくり」を進めます。
- ② 地域活動への参加を通して、地域に貢献しようとする生徒を育成します。
- ③ 地域人材の活用や地域課題をテーマとした学習を通して、学びを地域社会とつなげます。
- ④ 保護者・地域への積極的な情報発信により、信頼関係を一層深めます。

(8) 生徒・保護者・地域に信頼される教職員の育成（ウェルビーイングを基盤とした学校経営）

- ① 笑顔と誠実さを大切にし、生徒・保護者・地域から信頼される教職員集団を目指します。
- ② 働き方改革を推進し、校務支援システム「SasaeL 校務」を効果的に活用することで、校務の効率化と情報共有の円滑化を図ります。これにより、教職員が生徒と向き合う時間を生み出し、授業改善や生徒理解の深化につなげることで、教育の質の向上を図ります。
- ③ 教職員一人ひとりが学び続け、支え合いながら成長する「人が育つ学校」を目指します。